

第96号 平成17(2005)年10月20日発行

発行:埼玉県印刷工業組合広報委員会 〒360-0031 熊谷市末広1-63 TEL 048 (524) 4186 FAX 048 (524) 7680

URL http://www.saipia.net

Eメール saiinkou@orion.ocn.ne.jp



藤市 宿場まつり 写真提供:海野 智 (中仙道武州蕨宿 宿場まつり実行委員会)

[用紙提供:埼洋会]

印刷協力 五光印刷株式会社

関東甲信越静地区協議会第53回年次大会、埼玉の地で開かる

平成17年7月15日、





▲上田知事 祝辞

▼全体会議



関東甲信越静地区印刷協議会第53回年次大会が7月15日 (金)、さいたま新都心「ラフレさいたま」を会場に開催された。全印工連下、全国9地区の印刷協議会を擁するが、当地区は10県で構成され、単位工組は最も多い。その10県が持ち回りで年次大会を開催(主管をつとめる)、本年は当埼玉県印刷工業組合が主管県となり、開催のお世話をすることになった。先の平成7年から10年目になる。

大会は午前11時30分からの受付・登録に始り、昼食をは さんで、全体会議 (12時30分~)、理事長会・分科会 (午 後2時~)、分科会報告(午後3時40分~)、式典(午後4時 20分~)、懇親会(午後6時10分~8時10分)と、8時間 40分余にわたって、全体会議・式典等は主会場の3階桜の 間、分科会は4~5階各7室、懇親会は4階欅の間で開かれ た。最後の懇親会は来賓・関連業各社代表も加わって総勢 150名近くになり、さしも広い宴会場もびっちりの感であっ た。その中で宴会企画を担当した当工組青年部が操り出す演 目、ダンス、さいたまは見沼に伝わる竜神伝説から想を得た 「竜神まつり」の紹介、そして利き酒大会と出席者の目を楽 しませた。また、全体会議や各分科会で出された印刷産業全 体に亘る懸案事項についても、地区協議会会長堀一氏(新潟 工組)、新精一氏(埼玉工組)から、上田埼玉県知事らに向 けてアピールされた。そして和やかな中にも真剣に業界の生 きる道を探る第53回地区年次大会は幕を閉じた。次回第54 回は本年印刷文化典を引受ける新潟工組が引続いて引受ける ことになり、大会旗がバトンタッチされた。

全体会議、分科会で出された議題や、問題点をいくつかピックアップしてみたい。

全体会議では全印工連武石専務理事が「業界の現況報告」 と題して、業界の現況や全印工連および各県工組の抱える問題、とり組むべき課題について報告した。その中で、印刷業の企業数が3年間で3000社減少している実態を背景に、組合財政見直し、組織の見直しが急務であることを報告した。

さいたま新都心「ラフレさいたま」にて

あとの分科会=組織委員会で「この組織・財政問題に関する中間報告」が議論された。全国大会を隔年開催する、大会規模を縮小する等の意見が出された。武石専務の報告中、全印工連の2008事業計画で「自己企業の状況を的確に把握し、原点に戻ろう、業域を拡大していこう、コアになる部分をしっかり確保しよう」と組合員企業が各自自己防衛に徹することの大切さを呼びかけた。護衛船団方式による共同歩調だけでは限界にきているということであろう。

経営革新・マーケティング委員会では今組合全体でもとり 組んでいる官公需問題がとりあげられ、各県別の実情報告と 対応策の報告がされた。その中でやはり深刻な問題は価格問 題、印刷単価、入札価格がどんどん引き下げられていってい る問題と指摘された。個々の営業マンの問題を超えて、経営 者のモラルの問題であると指摘された。

教育・労務委員会では全印工連としての協議事項は改めて 提示せず、議題設定、進行は当協議会でフリーに進めてほし いとのことで始まった。その中で、資料提供のあった「キャッ シュベースナビゲータ」、「職業能力評価基準モデル」の2つ が取り上げられ、話し合われた。また、「新時代の営業向け セミナーの企画」について意見交換され、個々の評価も語ら れた。

環境委員会では、(1)大気汚染防止法の一部改正。経過説明(座長)。(2)特別産業廃棄物管理責任者講習、資料に基づき説明。相互に意見・情報交換。その他=環境に関する対応はどの社も反応が鈍い。法律で何かあるまではとの考えだろうか。「教育」などは営業で参加すればいいが、「環境」はトップか工場長となって足が重い等々、意見交換が十分行われた(議事録参照)。

共済事業委員会では、現在取り扱い中の5つの共済制度運営状況を報告し、平成17年度の目標、その他問題点について、意見・情報交換が行われた。(小倉新一)



▲鏡割



宮崎県議 乾杯▶



分科会 経営革新・ マーケティング委員会 **◆**吉田委員長

▼受付担当



第57回 中小企業団体全国大会に参加

去る9月15日(木)北海道札幌ドームにおいて、「北の大地で誓おう フロンティア精神 組織の力」をテーマに、第57回中小企業団体全国大会が開催され、全国から8千名が集結した。埼玉県中小企業団体中央会からは116名が参加、当組合からも中村照雄顧問以下2名が参加した。

大会は、開会宣言、開会挨拶、国歌斉唱に続いて、 佐伯全国中央会会長、渡辺北海道知事の挨拶と進み、 来賓が紹介されたあと議事に移った。

議案は「景気対策、中小企業対策の充実・強化」以 下13項目が一括上程され、意見発表の後採択された。 続いて大会宣言案が原 案通り可決され、議事 を終了した。

関係省庁の大臣らによる来賓祝辞(代読)、



政党代表挨拶に続いて、優良組合、組合功労者などの表彰式が行われた。そのあと、先の議事で採択された 大会宣言が読み上げられ、次期開催地の発表(東京都)、 次期開催地中央会会長挨拶と続き、最後に閉会挨拶で 大会が終了した。(事務局 深井)

県庁物品管理課へ要望!



去る10月6日(木)、新理事長以下組合三役全員が 県庁物品管理課を訪問した。

かねてより県知事へも陳情している「最低制限価格制度の導入」「県内事業者への優先発注」「著作権帰属問題」「デザインコンペの有償化」の中で、特に緊急を要する「最低制限価格制度の導入」「県内事業者への優先発注」の2点について、担当部局である物品管理課へ出向き陳情を行ったものである。

席上、物品管理課長より「お願いについての主旨は理解しているが、県としては今まで通り地元企業優先発注の方針に変更はない。『最低制限価格制度の導入』については、悩ましい問題を内在しており、公正取引委員会からの指導もあって、各県とも苦慮しているのではないか、当県でも苦慮している。出来る範囲で改善していきたいので推移を見守って欲しい。入札に関しては、再生産力を削ぐようなことが無いよう指導しており、指名業者の入れ替え制度についても良案があれば提案して欲しい。また、県に対して改善提案を積極的に進める営業活動をして欲しい。」との現状説明があった。

それに対して新理事長から「印刷業界の現状は、生 産高がピーク時より2兆円以上落ち込む状態であり、 理由はいくつかあるが、中小企業の売上げの3割を超 える額の受注先である官公需に対する不当競争が一 因であると考えている。現在の経済活動の中では競争 が必然であり、自助努力によって競争力を高めること は企業経営の要諦で、その中での競争でなければなら ないが、仕事量の減る中にあって業界の秩序を維持す ることに悪戦苦闘している状況である。また、県内業 者間の競争であれば未だしも、県内には営業拠点のみ で生産拠点を持たない事業者の受注が多々見受けられ ことは、県内の経済活動や県の財政改善に大きく寄与 するとは考えにくい。他県においても「最低制限価格 制度」の導入を実施してきつつあることから、当県に おいても導入実施を検討して欲しい。担当部局並びに 県知事から導入の方針を頂くことが最良と考えている が、場合によっては当局のご了解のもと県議会に請願 することも必要ではないかと考えている。」と現状の 厳しさを説明した。

その後、岩渕官公需対策特別委員会委員長より要望 書の詳細説明が行われるとともに、担当主査より県内 事業者に対する発注の推移が示されたが、県内事業者 の範囲、定義などについて意見交換がなされ、最終的 には、担当課長より「最低制限価格制度」については、 他県の情報など確認しながら検討するので暫く時間が 必要との表明があり、面会を終了した。

埼 洋会との第5回情報交換会開催

6月29日(火)、大宮清水園において埼洋会と当工 組の第5回情報交換会を開催した。

席上、新理事長から「この会も3年目を迎えた。印刷業界は大きな転換期を迎えており、少なからず紙業の皆さんにも影響が出ていることは承知しているが、 共存共栄の精神を維持して頂きたいし、我々も維持の 為に協力することが大切と考えている。

また、業界のみだれも依然として改善される気配はないが、モラルアップした経営に向け一段と努力しなければならない。大手が業績を伸ばすなか、中小は青息吐息の状態であり、県知事に要望している事項についても攻勢を強めていかなければならないと思っている。中小企業団体中央会が毎年まとめる要望事項には、我々の要望している事項が取り上げられており、歩調を合わせて活動したい。本会の運営も財政が許せば今までと同じく運営したいと思っているが、よく相談しながら進めたい。

既にご承知の事ではありますが、この7月15日に 当工組が主管する関東甲信越静地区印刷協議会が開催 されます。埼洋会の皆さんには経費節減の折多大な協 力を頂き、この場を借りて感謝申し上げます。大事に 使わせて頂きます。」との挨拶があった。 続いて浅海埼洋会会長から「デフレの中で用紙値上 げ問題が発生し、もっと意思の疎通が必要としてこの 会が発足した。我々が種々提案することで埼洋会から 紙を買ってもらう努力をしなければならないと考えて いる。各業界とも会員が減少しており、紙業界も同様 な状態であり、お互いに情報交換を密にしていければ と考えております。

製紙メーカーは現在、設備の定期点検の最中ですが、供給は順調に出荷されているようです。また、海外メーカーは自国の供給に目いっぱいで輸出に手が廻らない状態のようです。ただ、フィンランドでストライキが行われていて一部の製品に若干影響がでています。原油高騰、チリ・南米産チップの値上がりを理由に紙の値上げを目論んでいる様ですが、状況は安定的な価格で推移して行くとみられています。需要供給が安定し恵まれた1年でした。製紙メーカーは環境問題の対応としてFSC(管理された紙を使用する)を進めており、我々も歩調を合わせて行かなければなりません。更に最近散見される、ユーザー支給(紙を)の仕事が増えると大変な問題になります」との、現況報告を含めた挨拶があった後、個々の情報交換と懇親に移り、盛会のなか散会となった。(事務局 深井)

P マーク第2次共同取得キックオフ大会開催

7月2日(土)大宮情報文化センター5階会議室に 於いて、新理事長、吉田副理事長、櫻井専務理事並び に共同取得参加企業3社の社長及び各社幹部総勢14 名の参加を得て、プライバシーマーク第2次共同取得 キックオフ大会を開催した。

冒頭新理事長から「本年4月から個人情報保護法が施行され、我々の仕事に大きな影響を与える法律であると同時に行政官庁並びに顧客企業においても関心の高い問題であることから、昨年12月にプライバシーマーク第1次共同取得事業をスタートさせ、この6月には参加企業全員が審査申請の手続きを進めています。今回の共同取得に参加される皆さんも先発グループ同様、参加者全員が心を一つにして認証が受けられ

るよう頑張って頂きたい。」との激励の挨拶があった。

つづいてコンサルタ ント会社の幹部挨拶、 インストラクター紹介 のあと、吉田副理事長



のリードでキックオフ宣言と来年3月の認証取得に向けて「がんばろう」を三唱して大会を終了した。

『共同取得参加企業』

(株)シンポ、(有)幸文堂、大屋印刷(株)、 文進堂印刷(株)(追加参加)(事務局 深井)

バックカーボン・ナンバーリング印刷

カッターミシン・伝票丁合

信頼と技術、ガッツなパートナー深谷カーボン



代表取締役 深 町 ホームページ http://www.ksky.ne.jp/~youichi/

(048) 520-1649代 電話

FAX (048) 520-1410

埼玉県熊谷市上川上952-5





印刷機材の総合商社 KINSEISHA CO.LTD. 株式会社錦精社



【機器販売】

アダストドミナント印刷機械総販売元 INKDRY PLUS (IR乾燥装置)

印刷機·DTP関連機器 製版・断裁・製本機械

印刷用資材 (PS版・インキ・薬品・その他) ◇ TEL 048-886-8781 FAX 048-886-8855

さいたま支店

- ◇ JR京浜東北線北浦和駅下車 徒歩15分
- ◇ 〒 336-0072 さいたま市浦和区領家 5-12-16



Human Balance

設楽印刷機材株式会社

〒379-2154 前橋市野中町158-1 TEL027(261)7000(代) FAX027(261)7700 宇都宮営業所 〒320-0843 宇都宮市花園町17-1 TEL028(633)8324(代) FAX028(635)8385 埼玉営業所 〒360-0012 熊谷市上之540-15 TEL048(521)9851(代) FAX048(527)0562



デザイン素材はこちらから!! **デザインパッド**®

http://design.yamazakura.co.jp

株式会社 山 櫻 大宮支店/〒331-0814 さいたま市北区東大成町 2-516 お問合せは designpad@yamazakura.co.jp まで

機材部

Total Supply for Print 写真製版機材・インキから 印刷機まで全ておまかせ

写真製版部

Assisfance for More Comfort 一歩リードした製版システム技術 未来型印刷産業をクリエイト

グラフィックアーツシステム部

Consultation for Progress プロフェショナルな DTP・プリプレス Macintosh からハイウンドシステムまで Macintosh

Macintosh からハイウンドシステムまで 業務にあったシステム、設計から運用まで、トータルでサポート 自費出版・カタログ・社内報・会社案内・チラシなどの制作をお手伝いします。

株式会社 堀口プロセス機材

本社 群馬県渋川市1783 営業本部・写真製版部 北群馬群吉岡町大字小倉字北田461-3 TEL (0279)23-1319 (0279)54-7575 FAX (0279)54-3553

TFTカラーディスプレイコンピュータ断裁機

長野事務所 長野市大字栗田16 伊藤ビル1 F TEL (0262)28-1502 FAX (0262)28-3735

|S09001認証取得

一貫生産だからできる自信と信頼

株式会社 永井機械製作所

〒332-0031 埼玉県川口市青木4 3 1 1 TEL 048-251-0901 FAX 048-255-4674

URL http://www.nagaikikai.co/jp.

E-mail sa'es@nagaikikai.co.jp



NCW-07シリーズ(160.137.116.182)



これからは、 フォント、外字、データベース、自動組版… すべてWEBブラウザ上で解決!

WEB時代 が求めた



多彩なデータ活用を実現する

XMLデータベース

MDS-XMLDB

XMLのデータベースエンジンにメディアフュージョン社の 「Yggdrasill(イグドラシル)」を採用。高速検索をはじめ多彩 なデータ活用を実現します。WEBブラウザ上で入力が行え、 オペレータがXMLを意識しない環境を提供します。

XMLデータベースから自動組版へ

自動組版システム



MC-B²へのXMLインボート/エキスボートを実現するB²-Xml&B²-auto。外字を含むXMLデータベースから自動的 に組版作成を可能にします。また、索引自動加工のための周辺 ソフトもヤットされています。

WEBで外字をフル活用できる

外字ツールセット

MDS-GAIJI

多くの外字を扱ってきたモリサワのノウハウを結集、印刷用途に耐える高品質かつ豊富な外字セットを用意。外字入力・データベース管理・WEB、印刷までをシームレスに連用できます。



新理事長あいさつ

「実施の諸注意」



埼印工組9月印刷月間の恒例行事として行われてき たウォーキング大会が、本年も9月25日(日)、飯能・ 宮沢湖の周回路で実施された。その名もレイクサイド パーク第8回ウォーキング大会、森林公園での6回の あと、昨年に宮沢湖へ舞台を移して今年2回目である。 あいにく今回も雨模様にたたられ、色とりどりの傘が 開く中で開会セレモニーとなった。午前10時20分新 理事長の力強い挨拶でスタート、佐藤伍郎大会実行委 員長からウォーキング実施についての諸注意があって 出発した。

宮沢湖堰堤側から時計逆回りで湖の回りを一周す る。釣場の対岸部分は樹林帯を歩く。ふり積った落葉 のじゅうたんを踏んで心地よい。雨の降りも強くはな らず、徐々に雨は止んで、みなさんが周回してきた頃 には、そよそよと風が吹き、これからがウォーキング



傘をさしながらのセレモニー 子どもたちは雨ガッパの完全武装





コース中間点一まだ雨は上がらない。 足下も注意。



さあ、出発。寒さ(?)対策の服装でしょうか?



園道はコスモス、黄花コスモス ハイ・ポーズ!

平成17年9月25日 於 飯能レイクサイドパーク

雨にたたられるも224名参加

日和となってきた。残念、残念。

10時50分頃には先頭の人がゴールして、本部受付で完歩賞のおみやげ紙袋をもらってそのまま家路にむかう。地面が濡れているから、さすがにシートを広げて「楽しい昼食」というわけにはいかない。大宮刷機会の皆さんは釣場の小屋を借りてその中でシートの宴を工夫したが、きゅうくつさは否めなかった。2グループほどがベンチの雨跡をぬぐって弁当を開けた。北の空一角が少し明るくなって雲の切れる気配。座っていると涼しさがちょっときつい感じではあったか。

園内には、仲よしトレインが走っていたり、仲よし動物園もあったりするのだが、ウォーキングあと、そちらに流れた家族連れは僅かだった感じ。定着してきているウォーキング大会、来年こそは快晴に恵まれて活気をとりもどしたいですね。(小倉新一)



ゴール到達の方々は、お昼は家に帰ってからとの算段か? 完歩賞を受け取ると真っ直ぐ駐車場へ



僕、がんばったね!



ウォーキング終わったら こちらへきてね。 園内トレインも お待ちかね、だが…



お供のワンちゃんも服を着込んで雨対策……

後半になって雨もあらかた上がってきた。 やれやれ…ボクちゃんも歩きたいよね。

◆ 障害者雇用啓発トライアル事業特別寄稿 ◆

障害者の雇用に向けて

埼玉県産業労働部雇用対策課課長 山 岸 降

埼玉県印刷工業組合の組合員の皆様方には、日ごろ、 県の障害者就業支援事業の推進につきまして、格別の 御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、このたびは「障害者雇用啓発トライアル事業」の趣旨に御理解をいただき、事業に御協力いただきましたことに感謝申し上げます。この事業は、事業主団体と連携し、会員企業への普及啓発と障害者のインターンシップ(短期間の職場実習)を実施し、障害者の就業について理解を深め、障害者の雇用の促進を図るものです。

さて、障害者の雇用につきましては、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、すべての事業主は、障害者の有する能力を正当に評価し、適当な雇用の場を与えるとともに適正な雇用管理を行うことによりその雇用の安定を図るように努めなければならないこととなっており、民間企業においては常用労働者の1.8%以上の身体障害者又は知的障害者を雇用しなければならないこととされています。埼玉労働局の発表によりますと、平成16年6月1日現在で、県内の一般の民間企業における障害者の雇用率は1.39%で、

全国の1.46%より低く、全国43位という状況にあります。

また、県内公共職業安定所に登録している障害者の 求職者数も年々増えており、障害者の雇用環境は、景 気が回復する中にあって依然として厳しい状況にあり ます。

このようなことから、県では、障害者が地域で自立 して生活ができるよう関係機関への助成なども含め、 次のような障害者への就業支援を行っております。 (*は県が助成等を行っています。)

1 障害者の就業に関する相談

県産業労働センター、市町村障害者就労支援センター、障害者就業・生活支援センターなどで行っています。

・県産業労働センター

就職相談員が障害者等に対する職業相談、情報提 供及び求人開拓などを行っています。

中央(さいたま市大宮区)、川口駐在(川口市)、



西部 (川越市)、東部 (春日部市)、北部 (熊谷市)、 秩父支所 (秩父市) の6か所で業務を行っています。 ・市町村障害者就労支援センター (*)

障害者の就労機会の拡大を図るため市町村が設置 し、障害者やその家族の求めに応じて職業相談、就 職準備支援、職場開拓、職場実習支援、職場定着支 援などの業務を行っています。

現在、所沢市、新座市、東松山市、幸手市、川越 市、秩父市、久喜市、草加市、越谷市、蕨市に設置 されています。

・障害者就業・生活支援センター (*)

県から指定を受けた法人が雇用、保健、福祉、教育等の関係機関と連携しながら、障害者の就業及びそれに伴う生活に関する指導・助言、職業準備訓練のあっせんなど、障害者の職業生活における自立を図るために必要な支援を行っています。

現在、東松山市の (NPO) 東松山障害者就労支援センターと美里町の (社福) 美里会がセンターとして指定されています。

2 障害者の職業準備訓練

埼玉県西部地域障害者雇用支援センター(川越市・ 社団法人埼玉県雇用開発協会が運営)^(*)

職業生活での自立を図るために継続的な支援を必要

とする障害者に対し、障害の程度に応じて職場での基本的なルールを身に付けるなどの訓練を行っています。

3 障害者の職場実習

・職場適応訓練

雇用を前提に実際の職場で訓練を実施し、障害者に就業の自信を与え、事業主に技能の程度や職場適応性の有無を把握してもらうことにより、雇用の促進と定着を図ります。

・障害者雇用啓発トライアル事業

(貴組合に御協力いただいている事業です。)

短期間の職場実習を実施し、障害者の雇用の促進 を図ります。

4 障害者の雇用

公共職業安定所と共催し障害者を対象とした就職面 接会を開催していますので、組合員の皆様の御参加を お願いします。

県といたしましては、今後とも関係機関と連携し、 一人でも多くの障害者の方に就業の機会を提供できる よう就業を支援してまいりますので、組合員の皆様の 御理解、御協力をお願いいたします。







第10回 親睦ソフトボール大会開催



去る9月19日 (敬老の日)、熊 谷スポーツ文 化公園において 我々十四日会主 催による親睦ソ フトボール大会

が開催されました。早いもので今年で10回目を迎えました。

参加チームは太洋社、三興社、埼印工青年部、そして我々十四日会の4チームで、全4試合が行われました。

例年同様、公認審判員によるジャッジ、ウグイス嬢 によるアナウンス、電光掲示板による得点表示と、最 高の環境を用意できたと思います。

試合前は「親睦が大事」と言っていても、いざ試合が始まればやはり勝ちたくなるもの。楽しさと真剣さとが適当にミックスされ、良い汗が流せました。

年々完成度を高めているこの大会ですが、さらに楽しく、ということで今年は新企画「ホームラン競争」を実施しました。各チームから力自慢2名が10球ずつトライし、合計本数を競い合うというものです。

各打者ともなかなか記録が伸びなかったことが残念 ですが、十分楽しめる企画だったと思います。

今後も各チームの皆さんのご協力、アドバイスなど を頂きながら継続していきたいと思いますので、よろ しくお願い致します。

(熊谷支部 大川正行 (株)三興社印刷所)





熊谷十四日会 「海の幸と船下り」南三陸の旅

熊谷十四日会恒例の旅行は10月1日、2日行われた。 会員11名全員参加で熊谷を出発、途中昼食を取り 松島へ。心配していた天気は小雨模様、五大堂見学 後、松島一周遊覧船に乗りいざ出航。かもめの出迎え で数々の島を巡った後、宿泊地南三陸志津川、ホテル 観洋に到着。露天風呂で疲れを癒し、海の幸とコンパ ニオンを交えての宴会は盛り上がった。二次会は中国 雑伎団のショーを堪能した。

2日目は気仙沼海の市へ寄り、一路猊鼻渓(げいびけい)へ。日本百景猊鼻渓「船下り」は上り下り竿一



本で操る船下りで、日本ではここだけとのこと。まず 説明を聞きながら上流へと向かう。生憎の雨と屋根付 の舟だったので岸壁を見上げることが出来ず、壮観さ は感じられなくて残念であった。上流で一旦舟を下り、 大猊鼻岩・獅子ケ岩を見て再び乗船、下りでは船頭さ んの猊鼻追分の美声と「又今度天気の良い日にはどう ぞ」が土産となった。

隣接するレストハウスで昼食後、隣の紙すき館で紙すき体験。本格的ではなかったが繊維を溶かした水をカップで漉き枠に少しずつ注いで台紙を作り、染料で着色・木の葉を貼り付ける。はたしてどんな物が出来上がるのか。あとは熊谷へ向けて東北道をひた走ること6時間。

天候には恵まれなかったが、道中何のトラブルも無く全員元気で下山祝をすませ、解散となったことは何よりであった。

熊谷支部 高橋洋長(二葉印刷)

第30回 (最終回) 大宮刷機会ボーリング大会開催

第30回で最後となる大宮刷機会ボーリング大会が、 去る7月22日に上尾スポーツレーンズにおいて行わ れました。

参加者は男女合わせて35名でしたが、今回はバドワイザーが後援となり、バドグッズ、缶ビールが当るバドフレームをセット、皆それぞれ夏の暑さにも負けず賑やかに約2時間3ゲームが行われました。なかには日頃の運動不足でお疲れの人もいたようですが…。

大会終了後ミーティングルームに集まり成績発表並 びに参加者全員に賞品渡しと進み、永年続いたボーリ ング大会も無事終り散会しました。

昭和63年に第1回大会が始まり、平成17年の第30回大会までの17年もの長期にわたり続いたボーリング大会は、刷機会会員各位のご支援があって出来たと思っております。至らぬ点も多々ありましたが、参加者も多いときは70名を超える時期もあり、大変貴重な経験をさせていただきました。

又、いつの日かボーリング大会が再び行われるときがくることを願っております。長い間本当にありがとうございました。(大宮刷機会 伊藤欣介)

レンタルウエス ウエス各種 印刷材料販売 作業用品 梱包用品 洗浄剤 ハンドソープ

ラフト資材株式会社

本社 東京都板橋区小豆沢 4 -14-35 〒174-0051 TEL 03-3965-7231

工場 埼玉県児玉郡美里町280-1 〒367-0102 TEL 0495-76-1315

URL http://www.raft-inc.co.jp E-mail fwhd2901@mb.infoweb.ne.jp = ISO14001認証取得 =

よいものだけを・・・

ムトウユニパック

MUTOH UNIPACK Co.,LTD.

さいたま/埼玉県さいたま市大宮区場の内町1-698-1 **☎**048(647)6100 FAX048(644)4414 本 社/東京都江東区永代1-7-12 **☎**03(3642)1141 FAX03(3643)6654 URL:http://www.mutoh-u.co.jp

青年部だより

▶ 関東甲信越静地区印刷協議会 第53回 年次大会に参加

7月15日(金)さいたま新都心「ラフレさいたま」



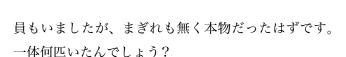
関東甲信越静地区印刷協議会の年次大会が、本年は 埼玉県がホスト工組として開催されました。

我々青年部メンバーも会場設営、誘導、受付、記録 作製など、微力ながらお手伝いをさせていただきまし た。中でも我々青年部が最も活躍できたのが、やはり (?) 懇親会です。









毎年のことですが、暑い時に屋外で汗をかきかき、 飛び交う蚊と格闘しながら飲むビールはいつも以上に おいしかったです。またやりたいですね。早く夏にな らないかな~。

幹事 (株)三興社印刷所 大川正行

各方面からお越しになるお客様のために、数種類の 名酒を取り揃えて「利き酒大会」を設営しました。方 法はいたって簡単、初めに1杯飲んだお酒と同じもの を、別のテーブルにある数点のお酒を飲み比べて言い 当てるという内容です。

どれも特徴ある名酒ばかりでしたが、皆さん既に酔 い始めていたせいか、正解するのは難しかったようで す。懇親会終了後、場所を移して二次会へ。さいたま の夜は更けていきました。

どれだけ会を盛り上げられたか分りませんが、一日 を通していろいろと貴重な経験をさせていただき、良 い勉強になりました。ありがとうございました。

幹事 (株) 三興社印刷所 大川正行





利き酒大会



▶ 暑気払いを開催

8月5日(金)、熊谷市のホテルガーデンパレスに おいて恒例の暑気払いが開催されました。

会場となったビアガーデンは、満員のお客さんたち の熱気もあってか日没後とはいえまだまだ蒸し暑く、 「夏だな~」と改めて感じさせられました。

また、周囲に生い茂る木々からは蝉の大合唱が。 「テープを流してるんじゃないか?」と疑問を持つ会

----会社めぐり

日 々 変 革

五光印刷株式会社/代表取締役 城戸紀夫



当社は今年で設立40年を迎えました。発足時は、自治体の法例集の編集や印刷の下請け専門として開業し、いわゆる活版職人を抱えて営業しておりました。私が入社した昭和60年の頃、3階建ての1階では大きな印刷機2台が振動とともにゴーゴーと音をたてており、2階では活字鋳造もしておりましたので、鉛を溶かす炉が高熱を発し、鋳造機のリズミカル(にぎやか)な音が社内に響いていました。このように活気のある職場だったように思い出されますが、今日の職場環境と比べればまったくの別会社の様相でした。

当時この仕事の業績は順調でしたが、繁忙期と閑散期が極端な仕事の流れでしたので、人の手配が最も頭を悩ます仕事だったようです。閑散期対策として新たな印刷市場を取り込み、年間を通して安定した受注体制にしたい、とオフセット設備を導入したのは遅ればせながら昭和58年でした。オフセットについて何の知識もないのに受注してしまい、近隣の同業者にどうするのか聞きながら製品化したとのことです。今日在るのも協力会社のおかげだと感謝しております。

私が入社した頃からオフの仕事を積極的にとりに回り、徐々に営業部員を増やしながら下請け専門から直受けへと営業転換を図って参りました。現在では直受けが6割、下請け4割位になりました。厳しい状況の中、2箇所に分散していた工場を平成12年に現在の工場に集結し、新しい体制でこの不況を乗り越えようと思い切って行動しました。

ここ数年はデジタル化に積極的に取り組みましたし、今年はFMスクリーンによる高精細印刷に挑戦しました。最近の印刷業界を見ると業態がボーダーレス化し、多様化してきましたので、どの道を選ぶか経営者の判断が以前より重要になったように思います。また、昨今の印刷業界はISOやPマークの認証取得をはじめ、カラーマネージメントやJDF、CIM、MISへの取り組みをどうするかなど課題が多く、機械設備以外に直接収益に結びつかないコストが必要になっていることが悩みの種です。

価値創造企業を目指して

六三四堂印刷株式会社/代表取締役 佐藤伍郎



当社は昭和8年5月に故樋口政一氏により創立され、そして その4年後には早くも2代目故佐藤栄松氏に引き継がれました。

昭和55年まで活版印刷を中心に営業しておりましたが、 私が社長に就任すると同時に活版印刷を思い切って廃止して オフセット印刷に切り替え、現在に至っております。

六三四堂という社名の難しいいわれは、こと改めて申し上げることはありませんが、ちょっとだけ申し上げます。川越はその昔、関東平野の広陵とした武蔵野台地に位置して今でも武蔵野の面影を遺す気候風土に恵まれ、昔から小江戸と呼ばれて、北部市街地を中心に蔵造りの家が数多く残っている、歴史と伝統・文化が息づいている街です。当社はその一郭に店を構えておりましたが、41年前の昭和39年に現在の地に移転しております。当時は、武蔵〇〇〇という社名が数多くあったので、武蔵をもじって六三四堂と名付け、営業が新規訪問の際にお客様から社名の読み方や、いわれを聞かれることが話題性に繋がるのではと初代が命名したそうです。

現在、当社は社員数25名の小規模な会社ですが、川越で72年続いておりますので、老舗の部類に入るのではと思っております。老舗が倒産したり、衰退したりする大変きびしい時代環境の中で、この二の舞を踏まぬよう頑張っております。

今や21世紀はIT革命、グローバル化の波が押し寄せ、 社会環境が急速に変化し、印刷産業も大きな変革期に直面しております。今後は情報・文化の創造と情報産業、コンテンツ産業として方向をシフトすることが重要になって参りました。これからは市場動向を分析したり、成功例を勉強する一方で、デジタルネットワーク化を急ぎ、業界を取りまく環境の変化に対応した目標を設定し、競争力を高めなければならないと考えています。

そしてその基本になるのがいつの時代もお客様の信頼に如何に応え、如何にご満足いただけるかということになると思います。

今後もユーザーニーズをしっかり把握し、最良のクオリティーとサービスを提供し、豊かな発想と企画提案力を高めて、新しい価値を創造していきたいと思っております。

人 事 往 来

6月22日(健保会館)

健保第134回組合会 大川副理事長出席

6月27日 (ラフレさいたま)

関東甲信越静地区印刷協議会打合せ

6月27日(大宮ソニックシティ)

中央会「合同専門委員会」 新理事長出席

6月28日(大宮 清水園)

埼洋会との情報交換会 新理事長 二重作 吉田 新井 岩渕各副理事長 櫻井専務理事 事務局深井出席

7月2日(大宮 宇宙劇場)

第2次Pマークキックオフ大会 新理事長 吉田副理事長 櫻井専務理事 事務局深井出席

7月6日(組合事務所)

関東甲信越静地区印刷協議会打合せ 新理事長 佐藤組織 委員長 櫻井専務理事 事務局出席

7月7日(浦和 千代田)

関東五県厚生年金基金選挙代議員会 新理事長 大川 二 重作 新井 佐藤各副理事 中村顧問 櫻井専務理事 鈴 木氏出席

7月13~14日(伊香保 福一)

中央会組合トップセミナー 新理事長 櫻井専務理事出席

7月15日 (ラフレさいたま)

第53回関東甲信越静地区印刷協議会

7月26日 (アイリス愛知)

全印工連第2回理事会 新理事長出席

8月1日 (モリサワ東京)

「違法コピーに関する特別セミナー」 新理事長 新井副理 事長 吉田副理事長代理小松氏出席

8月5日 (五光印刷)

安全衛生パトロール 新理事長 二重作 吉田 新井各副 理事長 櫻井専務理事 事務局深井出席

8月24日(基金事務局)

関東五県厚生年金基金総合監査 佐藤副理事長出席

9月1日 (ティアラ21熊谷)

広報委員会 新理事長 櫻井委員長 小倉 高橋両副委員 長 飯田委員 事務局出席

9月1日 (ティアラ21熊谷)

第2回役員会

9月1日 (さかえ寿司)

第53回関東甲信越静地区印刷協議会反省会

9月5日(組合事務所)

埼玉労働局との打合せ 新理事長 櫻井専務理事 事務局 出席

9月9日 (さいたま 満寿家)

関東五県厚生年金基金決算代議員会 二重作副理事長 中 村顧問 櫻井専務理事 鈴木氏出席

9月13~15日(札幌)

中央会全国大会 中村顧問 事務局深井出席

9月25日 (飯能レイクサイドパーク宮沢湖)

第8回親睦ウォーキング大会

10月1~2日(南三陸志津川)

熊谷14日会研修旅行

10月6日(県庁)

物品管理課訪問 新理事長 大川 二重作 吉田 新井 佐藤 岩渕各副理事長 櫻井専務理事 事務局深井出席

計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます 7月12日 光版社印刷(株)(狭山) ご母堂 五十子秀子様

編集後記

- ◇ 9月1日、震災の日、埼印工組では三つの会合が重なった。 広報委員会(2時~)を皮切りに、役員会(3時~)、最後は、 7/15の関東甲信越静地区協議会年次大会地元実行委員会 総括兼打上げ会(5時30分~)である。新理事長のあい さつの中で、当工組主管の年次大会について、7/26名古 屋で行われた全印工連理事会で関係者から大いに賞賛と労 いの言葉を受けた旨の報告があった。実施・進行に当たっ た正副理事長、各支部組合員、会場案内・誘導・記録・ア トラクションの青年部と一体になった運営が良い印象を 与えたのであろうか。気持ちよく打上げ会を行うことが できた。
- ◇さて、しかし役員会にしても、役員会の議題(報告)の一つであった全印工連の名古屋理事会にしても、重要な事項が数々あった。加入組合員の減少に伴って、全印工連の組織体制、財政規模の大幅縮小そして健全化がここ1~2年のうちに図られねばならない、と言う。これからその内容が組合員にも報告されるであろう。それらを正面から受け止めて、最善の解決策に持っていかねばならない。(S.O)





4 1133***10032 東京福祉東陸倫理之子。 FEL.(03) 3643-1131(代) FAX.(03) 3643-1138 名古屋営業所 〒451**0084 名古屋市西区上堀越町2-9-1 TEL.(052) 524-5541(代) FAX.(052) 524-5545

大阪営業所 〒532-0012 大阪市淀川区木川東3-1-31 TEL.(06) 6308-6651(代) FAX.(06) 6308-6679 九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8 TEL.(092) 741-2672(代) FAX.(092) 741-2670

岐阜工場〒501-3733岐阜県美濃市3951 TEL.(0575)33-1260(代)FAX.(0575)33-3146

